

I. 広東省

1 2018年末時点の広東省の企業登録数は前年比大幅増

●広東省市場監督管理局によれば、2018年末時点の広東省の企業登録数は492.1万社で、前年比17.1%増だった。(10日付「南方日報」1面)。

II. 広州市

1 2018年のPM2.5の平均濃度は1立方メートルあたり35マイクログラム

●広州市環境局の発表によれば、2018年の広州市のPM2.5濃度は1立方メートルあたり35マイクログラムだった。2013年比で34%減少した。また、「優」と「良」の日数は294日(80.5%)だった(9日付「広州日報」4面)。

(当館注)中国の基準では、PM2.5の濃度が、1立方メートルあたり0～35マイクログラムは「優」、35～75マイクログラムは「良」。

2 広州交易会の会場を拡張

●8日、広東省商務庁の関係者は、広州交易会の会場拡張のための第4期工事計画が始動していることを明らかにした。新館と会議センターを建設する準備段階に入り、合わせて10万平方メートルとなる。商務庁関係者によれば、広州交易会では、規則違反となる展示ブースの売買(第124回広州交易会では34社)や、展示ブースの仲介詐欺などが発生している。同庁は、資金や用地などの条件が整い次第、着工を開始するとしている(9日付「南方日報」11面)。

3 広州市が機構再編

●9日、広州市党委員会は、同市の党機関や市政府機関の再編を発表した。同市の党機関は53機関、政府機関は37機関に再編する(10日付「南方都市报」4面)。

4 広州(白雲)―大阪(関西国際)間の直行便が新規就航

●9日、春秋航空は、2月1日から、広州―大阪間の直行便を新規就航すると発表した(10日付「広州日報」21面)。

III. 深セン市

1 ファーウェイ(華為)がサーバー用CPU「kunpeng 920」を発表

- 7日、ファーウェイ（華為）が業界最高性能を謳う ARM ベースの CPU「kunpeng（鯤鵬）920」を発表した。同時に、「kunpeng 920」を搭載するサーバー「Taishan(泰山)」シリーズも発表した（8日付「南方日報」9面）。
（当館注1）ファーウェイの発表によれば、「Kunpeng 920」は処理速度の向上だけでなく、電力効率も競合他社より30%優れている。
（当館注2）ARMは、マイクロプロセッサの設計などを行うイギリスの企業でソフトバンクが2018年に完全子会社化。また、同社によるマイクロプロセッサの設計（アーキテクチャ）やそれに基づくプロセッサ製品などの総称。

2 深セン市で地下鉄14本が同時建設

- このほど、深セン市地鉄集団は、2019年に地下鉄14本（従来路線の延長工事を含む）の建設工事を進める計画を明らかにした。14本の総延長距離は273キロメートルで総投資額は2,600億元（10日付「南方日報」13面）。

3 深セン市が機構再編

- 深セン市党委員会は、同市の党機関や政府機関の再編を発表した。党機関は53機関、政府機関は34機関に再編する（11日付「深セン特区報」1面）。

IV. 福建省

特になし。

V. 広西チワン族自治区

特になし。

VI. 海南省

1 2018年に海南省の裁判所が取り扱った案件は前年比12.22%増

- 7日、海南省高等法院によれば、海南省の裁判所が取り扱った案件が210,414件となり、前年比12.22%増だった。初めて20万件を突破した。裁判官一人当たりの年平均担当件数は184件だった（9日付「海南日報」2面）。

（了）